

大阪市 水道記念館 (大阪市東淀川区)

みゅ〜 ザ・見遊じあむ

70

東海道本線の淀川鉄橋からも見ることができます



ミュージアムメモ

▶所在地/大阪市東淀川区柴島1-3-1▶交通/阪急千里線「柴島駅」下車徒歩15分▶開館時間/9時30分から16時30分(入館は16時まで)▶休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日)▶入場料/無料▶連絡先/電話06-6324-3191



正門に登録有形文化財の標示が

1914年(大正3年)から1986年(昭和61年)まで、大阪市の主力ポンプ場として活躍した「旧第一排水ポンプ場」を保存、活用した資料館です。建物は赤煉瓦と御影石によるネオ・ルネッサンス様式で、関西建築界の重鎮といわれた宗兵蔵氏が設計し

赤煉瓦がライトアップに映える 「水と環境」のテーマ館

ました。夜間はライトアップされ、ひととき美しい景観を見せています。建物は1999年に、国の登録有形文化財に指定されました。明治から大正期にかけ

て、大阪市は重工業が急速に発展する一方で、水道設備は十分ではなく、公衆衛生の維持・向上をはかるためにも、上下水道の整備は急務の課題になっていました。水道記念館では、近代の大阪市において、100年以上にわたって進められた水道事業の歴史を、写真

や映像、パネルなどで展示しています。また、琵琶湖・淀川水系の淡水魚、貝類も水槽などで展示しており、身近な水と環境についても学ぶことができます。

「127時間」



動かないアクション映画?

そのついに、生きるために、ラルストンのとった最後の行動とは……。ちょっと気の弱い方にはシヨクシヨクなシーンもありますのでそのつもりで。映画は事実にもとづいたもので、原作は登山家のアーロン・ラルストンの自伝「奇跡の6日間」。主人公のラルストンを演じるのは若手の人気俳優ジェームズ・フランコ。

映画のタイトルは峡谷で遭難した主人公が脱出に向かっ

て、運悪く、右手が岩と壁の間に挟まれてしま

このシネマ ガラエイガ

大阪の戦跡を歩く

第69歩

模擬原子爆弾投下地点 (大阪市東住吉区)

長崎に投下された原爆と同じ大きさの爆弾でした



1945年(昭和20年)7月20日からアメリカ軍は、原爆の投下訓練を目的に、東京、富山、大阪、和歌山などに約50発の模擬原子爆弾を投下しました。爆弾はカボチャのような形をしていたので、パンキン爆弾とも呼ばれ

ました。その一発が大阪市東住吉区の田辺地域に落下して7人が死亡、多数の方が罹災しました。「この記憶を忘れない」と2001年、地元住民の手で投下地点の近くに記念碑が建てられました。

撰津 河内 和泉 三國誌 おおさか

70 (貝塚市)

環濠城塞都市・寺内町 中世から江戸期にかけて 交通と軍事の拠点に

南海本線貝塚駅を下りて、海沿いの方向へ歩くと、土蔵や格子戸、寺院など江戸時代の面影を残すスポットに出会えます。「貝塚寺内町」といわれるこの一帯は、中世から江戸期にかけて、交通や軍事の要所として栄えました。応仁年間(1467年〜69年)には蓮如が逗留したと言われ、紀州根来寺から招かれた僧侶・ト半斎了珍(ぼくはんさいりょうちん)が地頭となつてからは、紀州(現在の和歌山県)と石山本願寺(現在の大阪城公園)を結ぶ一向宗の拠点として、環濠城塞都市へと発展をとげました。1577年(天正4年)、天下統一をねらう織



江戸時代の面影をしのぼせる街並み

田信長は、石山本願寺へ総攻撃をしかけました。これに対し本願寺は、門徒や周囲の諸勢力を集めて反撃。貝塚寺内町は、瀬戸内海を通して運ばれた毛利家からの支援物資を陸揚げして

石山本願寺に搬入するなど、軍事的にも重要な拠点となりました。しかし織田軍の攻撃を防ぐことはできず、ついに攻撃を受ける前日に、寺内町全域に火を放って逃走しました。いったん消滅した寺内町はその後、豊臣秀吉が実権を握る頃に復旧をとげます。徳川家康からも資金を与えられ、大坂夏の陣で寺内町は「徳川方の拠点」にもなりました。その後寺内町は、寺社領として幕末まで生き残ります。時の権力に利用されながらも、数百年にわたって営みを続けた寺内町は、近代になつてからも、貝塚のまちの原型になつていま

形見とて何か残さむ 春は花夏ほととぎす秋はもみぢ葉

良寛

いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

フランスの作家・ロマン・ロラン(1866~1944)の言葉。失敗をおそれ何もしなければ、誤ることはないかもしれないが成功の喜びも味わえない。自分の信じることに従って、打算抜きでまず行動することが大切だ、と言っています。

けっして誤ることのないのは 何事もなさない者ばかりである

ロマン・ロラン